日本国憲法 教育基本法 新学習指導要領第3期
埼玉県教育振興基本計画

豊かな学びで 未来を拓く埼玉教育

埼玉県教育行政重点施策

- 確かな学力の育成
- 豊かな心の育成
- 健やかな体の育成
- 自立する力の育成
- 多様なニーズに対応した教育の推進
- 質の高い学校教育のための環境の充実
- 家庭・地域の教育力の向上
- 生涯にわたる学びの推進
- 文化芸術の振興
- スポーツの推進

吉川中学校区小中一貫教育

目指す児童生徒像

自分の個性を知り、伸ばすことのできる子

吉川市教育大綱

家族を 郷土を愛し
志を立てて 凛として生きてゆく

自分と人を大切にし 郷土を慈しみ 自らがなりたい自分になるために 他者と協働しあきらめずに希求し学び続ける人

吉川市教育行政重点施策

- 生涯学習による人づくり・まちづくり
- 豊かな人間性を培う学校教育の充実
 - ・確かな学力の向上
 - ・教員の指導力の充実
 - ・健やかな心と体の成長
 - ・学校施設と教育環境の整備
- 青少年健全育成の充実
- 家庭・地域・学校の連携
- 多彩で個性ある文化の創造と伝承

目指す学校像

一人一人を大切にし 3つの力を伸ばす学校③

なかよく

自分も人も大切

かしこく

継続は力なり

ねばりよく

努力は裏切らない

- 「いじめは絶対に許しません」
- ・一日二善「自分のため 人のため」
- ・クラスが楽しい一人間関係づくり、いじめ対策、見守り
- ・居場所がある学級一人権教育の推進・道徳的価値
- ・規範意識を育む生活目標
- ・掃除は心を磨く授業

目標「いじめは絶対に許しません」見届け解消100%
学校が楽しい・仲良しの友達90% 生活目標80%

- 授業を楽しく「わかった」「できた」
- ・学びの環境、スタディ10(学習規律の確立)
- ・主体的・対話的な学び
- 授業改善—指導の工夫、授業スタイル、学習形態
- ・ICT活用能力の向上
- ・体験等活動—事前指導・事後指導

目標学力調査等 R3 年度超 全国・県比100%
学習規律の定着 めあての明示・毎時間

- 体育科授業と外遊び—「小さな汗をかく」運動量確保
- 危機意識の育成—自分の命は自分で守る
 - ・避難訓練、安全教室、登下校指導、不審者、減災防災
- 健康と食育—バランス・黙食 20分・咀嚼 30回
 - ・早寝早起き朝ごはん登校「脳のスイッチ ON」
- コロナ対策の徹底

目標新体力テスト R3 超 **重点**上体越し ポール投げ
保健目標80% マラソン100周70%

家庭

保幼

行政

吉川警察

草加児相

地域(自治会)

児童委員・民生委員

医療

スクールガード

教師の使命

未来を創る子どもたち
未来を育てる私たち
～未来への責任～

【取組】校内研修・一人一授業
互いに授業参観・高め合う集団

教職員事故・不祥事防止

体罰で育つ子供はいない
体罰は教育ではない
体罰は決して許されない

【取組】教職員事故「0」
倫理確立委員会月1回

学校における働き方改革

先生の元気を子供の元気につなげます。
計画的年休の取得・時間外勤務

【取組】ふれあいデー月1回
在校時間削減一人1日15分

初任者・若手の育成

教職人生の第一歩大切にします
全教職員で協力して育成します
健康で笑顔あふれる教職員に育てます

【取組】スキルアップS研修(適宜)
分掌への協力でスキルアップ

校舎内外・校庭 特別教室の環境 整美（美しく）	掲示教育の充実 子どもの活動 季節・月	黒板・溝・黒板の 下、黒板消しが きれい	学びの系統性 学びの連続性 ★小中一貫	やり方や手順が わかる ★授業スタイル	めあて・まとめ と振り返り ★主体的な学び	目標やルール、 約束が明確な体 験活動	具体物で確かめ る体験活動	ゲストティーチ ャー・本物に触 れる、交流する
掃除は心を磨く 授業★毎日指導 ○範を示す○こつを 教える○気づかせる	学びの環境 生活目標80% スタディー10 80%	廊下や床にゴミ が落ちていない ★ごみ「0」	机間指導と評価 個別の支援 声かけ・丸つけ 称賛	楽しい授業 学力調査：R3超 全国比県比100%超	発表できる 間違っても笑わ れない	初めての体験 興味もてる 必然性のある体 験	学校行事・体験 見学、学校探検、町探 検 社会科見学 遠 足、保幼小、小中等 年間行事計画	実際にやってみ る 成功・失敗 体験活動
学習規律の徹底 スタディ10 ★学期末点検	放課後の教室 机の整頓 ★毎日点検	整理整頓 ロッカーの上中、机、 廊下、くつのかかと	教科担任 学習形態の工夫 ペア、トリオ・グループ、	教材研究・教具 の工夫 ICTの活用	個に応じた課題 ドリル・プリント ★100枚達成 ★九九検定、算数検 定、その他の表彰	達成感がある 事前指導・本時 事後指導	異年齢集団の関 わり、学年によ って役割がある	体験活動を記録 する 伝える ICT・プレゼン
コロナ感染予防 マスク・消毒 手洗い・検温 ★家庭・医療と連携	自主的・意図的な 体力づくり、マラ ソン・外遊び ★マラソン100周 チャレンジランキング	健康のための啓発 生活習慣調査 3回 学校保健委員会2回 薬物乱用防止 歯磨き、虫歯治療	学びの環境 床の光は心の光 環境は人を創る	楽しい授業 「わかった」 「できた」	学校行事・体験 「必然性がある体験」 事前指導・本時 ・事後指導	避難訓練 S 避難訓練 不審者・竜巻 ★年間計画	事故防止・対策 登下校・放課後 ★AED 毎日点検	報告・連絡・相談 フットワーク ネットワーク チームワーク ★教職員事故「0」
早寝早起き朝ごはん 睡眠時間 9～10 ★毎日家庭の協力	健康・食育 保健目標80%	新体力テスト 「努力」「成果」 ★自己記録の更新	健康・食育 基本的な生活習慣 の確立	学校が楽しい 一人一人を大切に 3つの力を伸ばす 学校が楽しい90%	安心・安全 自分の命は自分で守る 危機管理「さすせそ」	安全点検 定期・臨時 ★月1回+α	安心・安全 初期対応は素早く 救命処置は秒を争う 事故「0」	生徒指導・教育 相談・いじめ対 策・見守り ★123日目、週間 後、月後の経過観察
命をいただくことへの感謝 黙食20分 咀嚼30回 ★毎日見届け	正しい姿勢 視力低下防止 物から30cm ★スタディ10	体育科の授業 小さな汗をかく ★活動30分強	教師と良好な 関係・信頼関係 仏様の指 笑顔 感情交流	クラスが楽しい 自分も 人も大切 いじめは絶対に 許しません	大切にされている 自分の居場所がある みんな違って みんないい	廊下・階段 静かに歩く ★生徒指導 毎月点検	中曽根小 よい子の約束 周知徹底・啓発・指 ★学期1回	教職員事故防止 不祥事防止 ★倫理確立月1回 ★複数点検・対応
いつも笑顔で 先生から声をか けてくれる ★毎日全員に	小さな変化や成 長に気づく ★服・髪・努力	がんばり、結果 を認めてくれる ★今日のヒーロー	学級の人間関係 「友達がいっぱい」 ★アンケート4回+ ★ハイパーQU	休み時間確保 業間・昼休み ★45分授業完結	言語環境 丁寧な言葉遣い TPO（時場所場合）	みんなと仲良く 話せる、遊べる ★ロング・学級レク	人権教育の推進 ★人権講話3回	係や当番活動 委員会などの 役割★一人一役
保護者と連携 保護者の信頼 ★電話・メール・面談	教師と良好な 関係・信頼関係 いじめ解消100%	範を示す 丁寧に教えてくれる 共に活動する先生	自分の意見が言える 話を聞いてもらえる ★称賛・拍手	クラスが楽しい 仲良しの友達 90%	人間関係づくり ソーシャルスキル エンカウンター ★学期1回+α	困っているときに 声かけや手助けが ある 相談できる	大切にされている 自分の居場所がある 新たな不登校「0」 勇者の旅	欠席時担任や友 達から連絡があ る★電話・オンライン
先生に相談でき る・話せる・遊ん でくれる ★休み時間	いじめやトラブ ルを解決する ★観察・見逃さない	活躍の機会を公 平に与えてくれる ★賞与、代表	道徳的価値 特別な教科「道徳」 ★年間35時間	「おはよう」「あ りがとう」など あいさつが自発 的に言える	〇〇さんと呼ば れる。協力や助 け合いがある	児童理解支援計 画作成と見直し ★全体情報共有	多面的な支援 SC、SSW、相談員 関係機関	自分の場所があ る 席・靴箱 ロッカーなど

危機管理(共通理解・共通行動) 信頼を構築するための、こんな時のこんな対応(原則)・・・管理職への報告・連絡・相談を忘れずに

1 授業中・休み時間のけが・体調不良

児童からの訴え、担任やその他の職員の観察により確認されたら

- ①必ず保健室へ行かせ、養護教諭と連携する。その後、管理職(教頭)へ。
③担任判断はNG。子どもの大丈夫を信じない。
- ②担任もしくは養護教諭から保護者へ一報。
③何時間目の何の時間、どこで、何をしていた、どんな様子が伝える。
- ③状況によって、保護者に来校いただき見てもらう。受診する。下校する。
③頭、目、歯など首から上のけがは、要受診。受診後、結果報告を依頼。
- ④下校後、受診後の児童の様子を確認する。電話いただくか、電話する。
- ⑤発生日を1日目とし、2日目、3日目、場合によっては、1、2、3週間後
1、2、3か月後まで経過を観察し、保護者と連絡を取り合う。

2 連絡帳や電話でのお問い合わせ

- ①学年主任、学年で情報共有し、管理職(教頭)へコピーやメモを渡す。
- ②連絡帳に書いて返答することはせず、電話や顔を合わせて話す。
「連絡ありがとうございます。この件について、放課後お電話させていただきます。」
「連絡ありがとうございます。この件について直接お話ししたいと思いますので、日時をご相談させてください。」
- ③話や面談の中で・・・面談は、複数で(学年主任と担任など)
本件の相談の主旨を確認する。③〇〇〇の件での相談ということですね。
本件についての相談内容を復唱しながら詳しく聞き記録する。不明なことはその場で、質問して確認する。③いつ、どこで、だれが、どうした、どうしてほしいのか。
- ④事実を確認して、連絡します。③学校にはできることと、できないことがある。
「わかりました」「すみませんでした」は使わず「ご心配をおかけしてすみません」を使う。
メモは正確に事実だけ。不明なことは、不明でよい。

3 校内でのいじめの対応

いじめの訴えがあったら、担任等が認知したら

- ①当該児童から話を聞く。(勘違いや嘘だと思わず、寄り添って)
- ②加害児童から事実確認(短時間で、数回、複数で、すり合わせ)
- ③事実が確認出来たら、当該児童(保護者)にどうしてほしいか確認
- ④加害児童への指導、学級、学年、全体、全校への指導、職員への周知
- ⑤当該児童、保護者へ連絡
今後の対応
・当該児童への見守りを全職員で(加害児童への支援)
・発生日から3か月は、本人への声かけ、保護者への連絡(経過報告)

4 登校渋り・不登校

- ①出欠確認、電話あり・電話なし
- ②未連絡は、朝のうちに電話連絡、迎え等の対応
③突発的な登校渋りは、朝のうちに対応すれば解決できる。
臨時支援チーム：学年、担任外、養護教諭、管理職
- ③週に1回程度、顔を合わせられるよう、声を聞けるよう保護者と約束
- ④長期的な不登校児童への対応は、約束を守る。
・手紙を取りに来るだけなら、手紙を渡したら「また、来週ね」と約束
・給食だけ食べにくるなら、給食を食べたら帰す
- ⑤電話や来校した時に、次回の約束を必ずする。

床の光は心の光”、“清掃は心を磨く授業”

1 共に汗を流し、範を示す。～どう頑張ったらよいか教える。～

清掃をすることを楽しくさせるためには、頑張ったという達成感を味わわせることです。そのためには、何を、どのように頑張ったらよいかを、子どもたちが理解していることが大切です。

まず、一人一人の清掃分担が明確になっていますか？ 各自の活動の目標をもたせていますか？

担任は、その上で、自ら意欲的に取り組み、範を示すとともに、具体的な指示を出していきます。清掃では、ある程度の素早い動きも必要であるし、丁寧さも必要です。どの動きは素早くすべきなのか、どの活動は丁寧にすべきなのか、一緒に活動しながら教えていきましょう。

①机の移動は、スピーディーに！

教室掃除では机の移動に時間がかかります。机の持ち方や運び方を教え（安全面も配慮）、机を持っていない時の移動は速足でさせると、かなり速く机が移動できるようになります。

②雑巾がけの前の掃き掃除担当が遅いと、全体が遅れる。

私は、教室掃除の掃き掃除担当を3人にしていました。教室の隅から、3人が縦一列に並んで掃きます。一人目は、目に見えるごみを中心に、少し速いスピードで掃いていきます。2人目は、その後を追いながら、掃き残したごみを掃いていきます。3人目は、教室の隅等を丁寧に掃きながら進んでいきます。（慣れないうちは、担任が一番先頭で掃き掃除をします。速すぎて単に雑な掃き掃除ではダメですから。）

雑巾がけ担当は、掃き担当3人目の後を追いながら、自分の肩幅程度を右、左、右、左と横に拭きながら、進んでいきます。（その際には、必ず膝をつけて拭かせること。隅までしっかり拭かせることが大切。）教室の壁まで進んだら、雑巾を裏返して、Uターンをして拭いていきます。（一度濯いだ雑巾は、4回使えます。）雑巾がけ担当の二人目、三人目は、後に続いて拭いていきます。担任も雑巾がけと一緒にします。（掃き掃除をすることもありますが、大体は、一番大変な雑巾がけをやっていました。）力を入れて床を拭き、ハイペースで机を運ぶと、冬でも汗ばんできます。“金魚のフン作戦”

自分の頑張ったことが認められると、さらに頑張ろうと思えますね。窓を拭いた後、「ああ、きれいになったな。」と子どもが実感できたら、『やってよかった。明日は隣の窓もピカピカにしよう！』となります。さらに担任が、「Aさんが拭いてくれた窓、すごくきれいだね！ Aさんは、窓拭き名人だね。」と称賛したら、Aさんの意欲はさらにアップですね。そのために大切なことは、“窓ふきのこつ”を教えることです。

“濡れ拭きをした後、乾拭きをする。反対から見て、汚れが残っているところは、息を吹きかけてもう一度乾拭きをする。”窓拭き用の洗剤を使わなくても、たったこれだけを教えるだけで、窓拭き名人が生まれると思います。（特に今の時期は、窓の汚れが目立つ時なので、効果的です。）

雑巾がけの仕方については、1に書きました。しかし、床はそう簡単には光ってきません。特に今の床は、ワックスをかけないと・・・。

2 清掃の“こつ”を教え、活動を認める(称賛する)。

自分は、雑巾がけ担当の子どもには、雑巾の汚れ、バケツの水の汚れを褒めました。雑巾の濯ぎ方、絞り方、ほうきの掃き方、床の拭き方、机の運び方、窓の拭き方など、それぞれに“こつ（やり方）”があります。担任自身が子どもたちと一緒に清掃しながら、“こつ”を学びましょう。そして、子どもに教えてあげてください。

※学校校舎の材質、清掃のやり方で、“こつ（やり方）”は様々です。まず、自らがやってみることで。清掃後の反省会（認める会）も大切です。子どもたちに今日の清掃活動を自己評価させ、担任からもねぎらいの言葉をかけましょう。

3 “気付きの清掃”をさせる。(自主的な活動を奨励する。)

役割分担の活動が終わったら、“気付きの清掃”をさせましょう。共有ロッカーの整頓や清掃、窓や戸の棧や溝の清掃、壁磨き、草花の世話等、普段の役割分担以外に活動できる仕事は結構あります。特別教室ならば授業で使用している用具の手入れもできます。

まずは担任から「こんなところもきれいにできるよ。」「黒板の下の壁を磨いてもらえるかな。」などと、活動のヒントを与えたり、お願いをしたりします。自分の分担がなかなか終わらない友だちを手伝ってあげることも大切です。普段清掃できていないところは、意外と汚れているものです。きれいになった実感がつかみやすいところが多く、子どもたちは喜んで活動するようになります。慣れてくると、「先生、〇〇もきれいにしていますか？」「今日は、〇〇をそうしたら、雑巾がこんなに汚くなりました。」というように、自分からきれいにする場所を見つけて活動するようになります。だんだんときれいにする喜びが増して、清掃に一生懸命取り組むようになります。

参考：東部教育事務所

草加児童相談所
920-4152
子育て支援課
982-9529

事実確認・写真

虐待・ネグレクト

吉川警察署生活安
全課少年係
958-0110

事実確認・写メ

SNSトラブル

少年センター
981-3863

保護者が110番

詳細の聞き取り※

不審者

学校・学級担任への相談 ⇒ 管理職へ報告・連絡・相談

家庭の問題

SSW・SC・相談員
地域福祉課
982-9548

中学校 SC（週1）
吉川中さわやか
940-5887

中川の郷
草加保健所こころ
の健康相談 8：30
048-925-1551
心の在宅診療所
048-940-3067

不登校傾向

特別支援教育
コーディネーター
養教（校内）
相談員（週2）
SC（月1）
SSW（週2）
教育委員会
984-3564

少年センター
教育支援センター
アウトリーチ
981-3863

発達の困り感
学習・行動

特別支援教育
コーディネーター
養教（校内）
相談員（週2）
SC（月1）
SSW（週2）

特別支援学校（発達）
952-1205
言語・難聴（ことば）
ひまわり（情緒）
三愛会・獨協
小児医療センター